



LIBRARY AND INFORMATION TECHNOLOGY CENTER, GUNMA UNIVERSITY

国立大学法人 群馬大学

2011 総合情報メディアセンター概要



LIBRARY AND INFORMATION TECHNOLOGY CENTER, GUNMA UNIVERSITY

UNIVERSITY

LIBRARY AND INFORMATION TECHNOLOGY CENTER, GUNMA UNIVERSITY

ご挨拶



総合情報メディアセンター長

末松 美知子 (社会情報学部・教授)

ご存知の様に、大学は情報発信拠点としての可能性を厳しく問われています。群馬大学総合情報メディアセンターは図書館と情報基盤部門、事務情報部門からなっていますが、その三者一体で、21世紀にふさわしい知の拠点の役割を果たしていかななくてはなりません。教育、研究、地域や世界への発信など、大学の行うあらゆる活動をサポートする情報の宝庫として利用していただけるよう、引き続き一層の努力をまいります。

総合情報メディアセンターのハードウェア、ソフトウェアは全て皆様に活用されてこそ生きてくると信じております。どうぞご遠慮なく、ご意見やご要望等を総合情報メディアセンターまでお寄せください。よろしくお願いいたします。

総合情報メディアセンター

総合情報メディアセンターは、本学の教育研究支援を目的とした、学術情報の収集と情報発信ならびに基盤の整備運用等のサービスを行う部局です。資料の整備、ネットワーク及び演習用端末の管理、電子ジャーナルの契約だけでなく、学生のための「学びの場」の提供に力を入れています。また、地域の学術情報センターとして、学外者利用などの地域貢献も行っています。加えて、情報化統括責任者(CIO)の下に組織された「情報化推進室」と緊密に連携し、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を一元的に推進しています。

沿革

年月	図書館部門	情報基盤部門	事務情報部門
1949.5	群馬大学附属図書館・医学部分館・工学部分館設置		
1963.4	内分泌研究所図書開設		
1966.3		工学部研究委員会に電子計算機室設置	
1974.12		電子計算機委員会発足	
1975.4		計算センターを全学共同利用施設として工学部に設置	
1976.3		群馬大学計算センター(学内共同利用施設、学内措置)に名称変更 東京大学大型計算機センターとのリモートパッチサービス開始	
1977.4	医療技術短期大学部図書開設		
1979.1		昭和地区分室を開設	
1981.4			庶務部庶務課に情報処理係を設置(係長1名、係員1名)
1981.9	工学部分館、書庫等増築		
1982.1		荒牧地区分室を開設 荒牧地区分室、東京大学大型計算機センターと公衆回線で接続(1200bps)	
1983.3	本館、閲覧室増築		
1984.12		全学共同利用施設 情報処理センターの発足	
1985.1		東京大学大型計算機センターと専用回線で接続、サービス開始(9600bps)	
1985.8	放送大学と相互利用に関する申し合わせ締結		
1986.7		大学間コンピュータネットワーク(N-1)加入接続(東京大学大型計算機センター)	
1986.9	学術情報センター NACSIS-CAT との接続		
1988.7	第34回国立大学図書館協議会総会開催(草津町)		
1989.4			経理部経理課へ組織替え(係長1名、係員1名)
1990.6	図書館事務長廃止、事務部課長制へ移行		
1991.4		群馬大学学術情報ネットワーク(GUNet)を構築(1989.1~1991.4)	
1991.12		JAIN(Japan Academic Inter-university Network)に加入	
1992.3		N-1ネットワーク接続(48Kbps) 桐生-荒牧間 192Kbps(高速デジタル回線) 昭和-荒牧間 64Kbps(専用デジタル回線)	
1992.4			組織の定員変更(係長1名、係員2名)
1992.5	完全週休2日制に伴い、土曜日開館		
1993.4		TRAIN(東京地域アカデミックネットワーク)に加入	
1993.10	医学部分館新築		
1994.1	医学部分館を医学分館に改称、医療技術短期大学部図書、内分泌研究所図書室を統合		
1994.3		FDDIネットワークを構築 桐生-荒牧キャンパス間をATM接続(1.5Mbps)し、電話回線を統合	
1994.5		光ケーブル基幹LAN整備 100Mbps	
1994.10	医学分館、特別利用(閉館後の無人開館)の24時までの運用開始		

総合情報メディアセンターの理念・目標

ideal
aim

[理念]

学術情報基盤の提供を通して、本学の教育・研究・社会貢献活動を支えます。

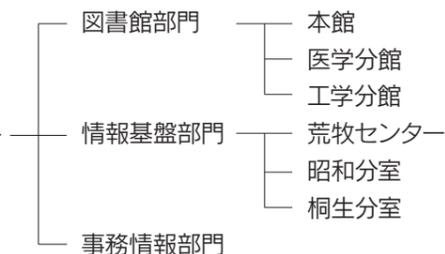
[目標]

1. 人にやさしい情報システムを提供し、教育・研究と大学運営を支えます。
2. 学内ネットワークの安全・堅牢・高速化に努め、情報交流の活発化に貢献します。
3. 図書の維持・更新に努め、教育・研究活動に貢献します。
4. 電子情報資料の充実に努め、ITでその利用価値を更に高めます。
5. 情報教育の充実に通じて、情報化社会に適應できる人材の育成に努めます。
6. 学術情報基盤の研究を進め、成果を当センターの理念達成のために活かします。
7. 総合情報メディアセンターの運営を通して、社会貢献に努めます。

organization

組織

群馬大学総合情報メディアセンター



年月	図書館部門	情報基盤部門	事務情報部門
1994.12		SINET ノード設備(ATM)完成、運用開始(1Mbps)	
1995.1		桐生-荒牧間 768Kbps、昭和-荒牧間 512Kbps	
1996.4		ATM接続によるTV会議システム、遠隔講義システムの運用開始	組織の定員変更(係長1名、係員1名)
		キャンパス間(桐生-荒牧、荒牧-昭和)回線を6Mbpsに増速し、GUNetをATMで運用開始	
1998.3		SINETのATMノードとGUNetとの直接接続による運用開始	
1999.4		総合情報処理センターに改組	
2000.3		キャンパス間回線を専用線からATM MegaLinkへ移行(15Mbps)	
2001.3	図書館利用評価アンケート結果を館報(No.285)で報告	Gigabitネットワークを構築	
2001.4			総務部に総合情報システム室を開設
2002.3		全学遠隔講義システム導入	
	新田岩松家旧蔵粉本仮展示開催		
2002.6	医学分館、特別利用の24時間運用開始		
2003.11		SINET群馬ノードEthernet化	
2004.3	本館、分館に自動貸出返却装置を導入		
2004.4		国立大学法人群馬大学設立	
			財務部経理課に組織替え
2004.6		教育学部附属小学校・幼稚園・特別支援学校(前橋市若宮地区)、附属中学校(前橋市上沖地区)がMENET(前橋市教育情報ネットワーク)に接続(10Mbps)	
2005.3		キャンパス間回線をATM MegaLinkからEthernet回線へ移行し、30Mbpsに増速	
2005.4		附属図書館、総合情報処理センター、総合情報システム室を統合し、総合情報メディアセンターへ改組	
	本館(荒牧地区)日曜開館開始		
		キャンパス間内線電話をATM交換機からVoIPゲートウェイに変更(内線電話をTCP/IPに収容)	
2005.10		キャンパス間回線を100Mbpsに増速	
2007.4	工学部・大学院再編により工学部分館より工学分館へ改称		
2008.1		SINET接続を1Gbpsに増速	
2008.4		大田キャンパスとの接続(100Mbps)	
2008.5		新無線LANシステム(IEEE802.11n)及び認証ネットワーク稼動	
2009.1		ファイアーウォールを導入	
2009.3		SINET群馬ノードを桐生分室から荒牧センターに移設	
2009.4	総合情報メディアセンター本館リニューアルオープン(2008.8~2009.3耐震補強・改修工事)		
2009.12		教育学部附属小学校・幼稚園・特別支援学校(前橋市若宮地区)、附属中学校(前橋市上沖地区)をMENET(前橋市教育情報ネットワーク)から学内ネットワーク(Gunet)に接続換	
2010.3		荒牧地区光直収ネットワークシステム導入 運用開始	
2010.10		附属小・中学校(前橋市上沖地区)の接続100Mbpsに変更	

図書館部門の紹介

図書館は、本館(荒牧キャンパス)、医学分館(昭和キャンパス)及び工学分館(桐生キャンパス)で構成されています。
3館が連携・協力しながら、本学の学生・教職員及び学外利用者へのサービスを行っており、近年では、群馬大学学術情報リポジトリ(GAIR)の構築など電子図書館としての機能強化に努めています。

GAIR(群馬大学学術情報リポジトリ)

研究機関の知的生産物を電子データとして収集・保存し、インターネットを通じて世界に発信する仕組みを「機関リポジトリ」と言い、GAIR(群馬大学学術情報リポジトリ)は群馬大学の機関リポジトリです。



GAIR には <https://gair.media.gunma-u.ac.jp/> からアクセスでき、研究成果を登録するとさまざまなメリットがあります。

- 研究成果(全文)がインターネットで公開されます。
- 研究成果のVisibility(可視性)が向上します。
研究成果へのアクセスが改善されるため、より多くの人に読まれるとされています。
- 研究成果がデジタル保存されます。
ハンドル・システムを採用しており、論文のURLは今後サービスの変更があっても変わることがありません。

<http://hdl.handle.net/10087> *群馬大学の番号 /XXXX *論文番号 /

インターネットを使える環境においては、10087以降の番号だけを管理しておくだけで、いつでも自分で論文にアクセスできます。

図書館統計

サービス

平成21年度

区分	開館日数(日)	サービス対象者数(人)	入館者数(学外者：内数)(人)	貸出冊数(冊)	文献複写		現物貸借	
					受付(件)	依頼(件)	貸出(件)	借用(件)
本館	298	3,161	190,327(1,704)	31,362	1,323	1,113	440	212
医学分館	286	4,362	178,204(2,127)	22,005	4,738	2,710	66	83
工学分館	278	3,836	169,586(807)	30,865	778	983	173	280
計	-	11,359	538,117(4,638)	84,232	6,839	4,806	679	575

蔵書数

平成21年度

区分	図書(冊)			雑誌(種数)		
	和	洋	計	和	洋	計
本館	275,036	54,178	329,214	6,683	1,564	8,247
医学分館	75,005	66,053	141,058	2,061	1,848	3,909
工学分館	113,124	75,113	188,237	1,094	1,107	2,201
計	463,165	195,344	658,509	9,838	4,519	14,357

受入資料数

平成21年度

区分	図書(冊)	雑誌(種)
本館	2,121	2,561
医学分館	2,749	1,175
工学分館	985	327
計	5,855	4,063

資料費

平成21年度(単位：千円)

区分	図書	雑誌	その他	計
本館	11,163	4,806	63,386	79,355
医学分館	8,927	51,093	4,095	64,115
工学分館	11,233	5,156	7,672	24,061
計	31,323	61,055	75,153	167,531

電子ジャーナル

年度	タイトル数
2008	5,205
2009	5,301
2010	5,908

施設面積等

区分	施設(m ²)					座席数
	総面積	閲覧室	書庫	事務室	その他	
本館	3,419	2,198	494	456	271	230
医学分館	2,412	1,314	264	127	707	256
工学分館	2,718	1,167	825	174	552	313
計	8,549	4,679	1,583	757	1,530	799

特殊コレクション(本館所蔵)

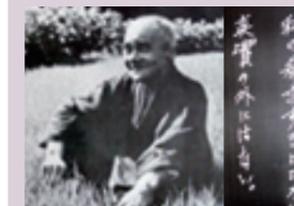
新田文庫

新田文庫は1966(昭和41)年に故新田義美氏(旧新田男爵家)によって群馬大学附属図書館に寄贈されたもので、中世文書の写、近世の日記・系図・由来書や知所から提出された文書、版本・写本の書籍類1,676点に、絵画資料(粉本類)を含めたコレクションである。中世文書の写、近世文書(冊物)、書籍類等は、本学の落合延高教授により整理され、1984(昭和59)年に「新田文庫目録」、2年後に「新田文庫資料集」を刊行した。近世文書のうち特徴的なものは、歴代新田岩松家が記録した「日記」「在府日記」「御留守日記」「御用所日記」と呼ばれる300点以上の日記で1680年から1894年までの214年間に及んでいる。



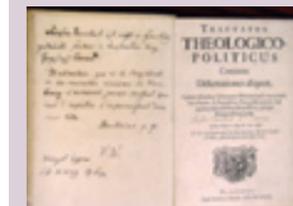
田辺文庫

田辺文庫は京都大学名誉教授故田辺元博士(1885-1962)の遺贈にかり、博士が京都大学退官後定住された群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢の山荘に所蔵されていた図書の大半を含むものである。博士の思索のあとをうかがい知る上において貴重な資料となる書き込みのある図書、手帳、書簡、アルバムなどを含んだコレクションである。博士は、1954(昭和29)年に夫人を失い、以後孤独のうちに専ら研究と著述に傾倒されたが、1961(昭和36)年に病で倒れ、群馬大学医学部附属病院に入院、1962(昭和37)年77才をもって逝去されるまで、同病院において静かに治療生活を送られた。博士はそのことを縁として、門下の人々とも協議の上、その蔵書の大半を特に本学に寄贈することを託された。



スピノザ文庫

前橋市の書店「煥乎堂」の経営者であった高橋清七氏(1884-1942)が集書・愛蔵し、死後ご意志により本学に寄贈された8,000点余の図書のうち、スピノザ(1632-1677)哲学の学術文献236点を選別したものである。同文庫の中で、最も資料的価値の高いもののひとつは「原典版」とよばれる刊本資料の『神学政治論』(Tractatus THEOLOGICO-POLITICUS)である。同書は出版後(1670初頭)まもなく異端文書として教会からの弾劾の対象となった。今日確認されているだけでも、10種類の異なった版が17世紀中に出ているが、著者名はどの版にも記載されていない。当館所蔵本は、スピノザ研究の第一人者であるハイデルベルク大学カール・ゲブハルト教授の分類によるとその第一分類に当たる初版本である。



明治期教科書

群馬県師範学校及び女子師範学校などの蔵書印のある、明治期に師範学校及び小学校で実際に使われた教科書約3,000冊を所蔵している。明治の初めに設置された群馬県師範学校の前身である熊谷県「暢發学校」のもの、「十七番中学本部学校」、「群馬県衛生所・群馬県医学校・群馬県女学校」などで使われたもの、群馬県の小学校指定図書や明治期の芸術教育に関するもの等、内容は多岐に亘る。その中には「小学校生徒用物理書」を始めとする、日本において近代科学思想が明治期初期にどのように広められ、また教育されてきたかを知る契機となる書物も多数ある。全体として、物理・理科系500冊、算術数学系300冊、讀本1,000冊、歴史地理300冊、修身300冊、音楽・図画手本・習字手本などの尋常・高等小学校教科書を中心とするコレクション(内和綴本1,800冊)である。



郷土かるた

群馬県は、全国5百数種を数える郷土かるたのうち、百数種のかかるたを保有する全国第1位の郷土かるた県である。それらのうち、図書館は平成9年、本学教育学部の山口幸男教授ならびに原口美貴子講師より寄贈いただいた100種の全国の郷土かるたを所蔵する。



ダンテ神曲

DANTE(A.)DIVINA COMMEDIA (Venice 1491) 初期イタリアにおける代表的な作品。本書は初期揺籃本(インキュナブラ：15世紀後半の50年間に印刷された書物の総称)と呼ばれるもので、資料的な価値は大変に高い。総頁302葉、うち4枚の木版画を含み97画が本文にはめ込まれている。



その他



熊谷県学校諸私小前帳

群馬県師範学校試験問題録

群馬県女子師範学校舎務日誌

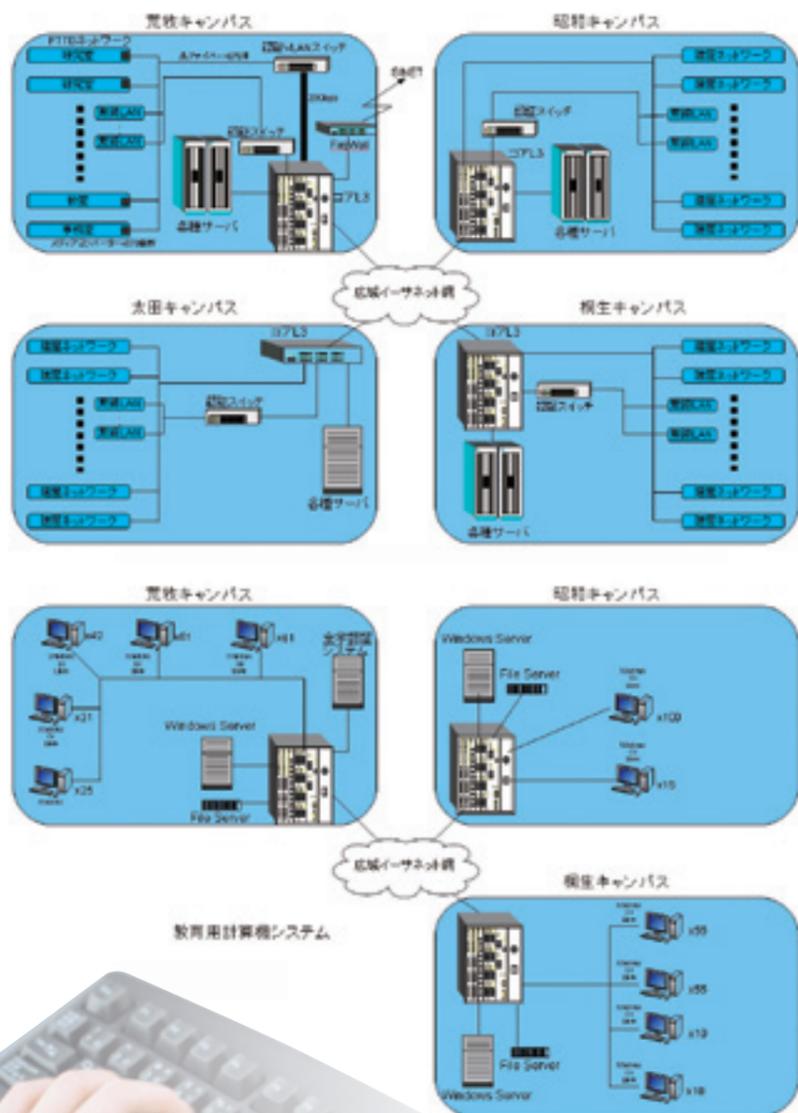
群馬県師範学校試験問題(抜粋)

情報基盤部門・事務情報部門の紹介

情報基盤部門は群馬大学学術情報ネットワーク (GUNet)、教育研究用計算機システムの管理運用を行っています。GUNet は本学 4 キャンパスと附属学校園を広域イーサネット接続し、荒牧キャンパスからインターネットに接続されています。情報基盤部門荒牧センターは学術情報ネットワークの接続拠点(SINET ノード) となっており、県内の大学のネットワーク拠点としての役割をも果たしています。

事務情報部門は、事務情報ネットワーク、図書館情報システム、事務用電子計算機システムの管理運用を行っています。情報基盤部門と連携し、事務の効率化・情報化を推進しています。

情報基盤システム概要図



キャンパス内光直取ネットワークシステム



入退館管理システム



図書館情報システム



大学情報データベース

「大学情報データベース」<https://univ-db.media.gunma-u.ac.jp/> は、本学に所属している研究者の成果や活動といった研究情報の公開を目的として整備されています。本学ウェブサイトから、業績検索(著書、論文など)及び研究者検索(氏名、所属など)の機能を使用して、教員の研究情報を検索することができます。

また、本学で実施している教員評価の基礎データの蓄積と資料作成、及び科学技術振興機構 (JST) が運用する研究開発支援総合ディレクトリ (ReaD) <http://read.jst.go.jp/> への登録用データの作成も行えるようになっています。

本データベースにより、本学における教育・研究・社会貢献活動等の進行状況を発信し、学内外におけるさまざまな活動に活用することで、地域社会への貢献ならびに教育の発展に寄与することが期待されています。



大学情報データベース トップページ

全学ソフトウェアライセンス

全学ソフトウェアライセンスは、学生、教職員が全学的に使用するソフトウェアの標準化と、その整備に係る経費の節減、並びに、ソフトウェアの不正コピーの防止を組織的に取り組むことでのコンプライアンス対策等を目的としています。

- マイクロソフト社製品
- シマンテック社製品
- 数式処理システム Mathematica
- 統計パッケージソフトウェア SPSS
- ドキュメント管理システム Xythos 社製品

マイクロソフト包括ライセンス契約

大学が管理する全ての PC、個人が所有する PC 1 台に、Windows のアップグレード、Office 製品のインストールができます。学生には、DreamSpark のライセンスが与えられ、Visual Studio などの開発ツールを利用できます。



ラーニングルーム



マイクロソフト包括ライセンス契約ポスター

地区	図書館部門	情報基盤部門・事務情報部門
荒牧地区 〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地 【利用時間】 平日 9:00～21:00 (休業期間は平日のみ9:00～17:00 土日休館) 土曜日 9:00～17:00 日曜日 9:00～17:00	本館 TEL 027-220-7170 FAX 027-220-7184 http://www.lib.gunma-u.ac.jp/ http://www.lib.gunma-u.ac.jp/aramaki/	荒牧センター TEL 027-220-7391 FAX 027-220-7393 http://a.itc.media.gunma-u.ac.jp/ 事務情報部門 TEL 027-220-7070
昭和地区 〒371-8513 前橋市昭和町三丁目39番地22号 【利用時間】 平日 9:00～21:00 (休業期間は平日のみ9:00～17:00 土日休館) 土曜日 9:00～17:00 日曜日 休館	医学分館 TEL 027-220-7882 FAX 027-220-7888 http://www.lib.gunma-u.ac.jp/mlib/ ※医学分館は特別利用(24時間利用)実施	昭和分室 TEL 027-220-8105 FAX 027-220-8106 http://s.itc.media.gunma-u.ac.jp/
桐生地区 〒376-8515 桐生市天神町一丁目5番地1号 【利用時間】 平日 9:00～22:00 (休業期間は平日のみ9:00～17:00 土日休館) 土曜日 10:00～18:00 日曜日 休館	工学分館 TEL 0277-30-1071 FAX 0277-30-1082 http://www.lib.gunma-u.ac.jp/elib/	桐生分室 TEL 0277-30-1161 FAX 0277-30-1169 http://k.itc.media.gunma-u.ac.jp/

図書館外観



荒牧キャンパス(本館)



昭和キャンパス(医学分館)



桐生キャンパス(工学分館)



- 荒牧地区 JR 両毛線にて前橋駅下車、北方へ8 km バス(群馬大学荒牧経由渋川駅行)にて約30分
- 昭和地区 JR 両毛線にて前橋駅下車、北方へ4 km バス(群大病院経由南橋団地行)にて約15分
- 桐生地区 JR 両毛線にて桐生駅下車、北方へ2.5 km

